
成増駅・営団成増駅周辺
バリアフリー促進地区整備構想



平成16年度～平成25年度

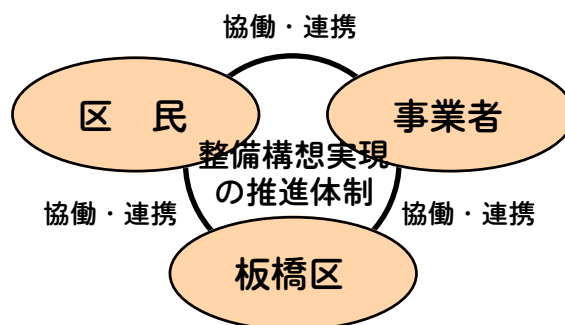
板 橋 区

はじめに

板橋区では、まちの総合的なバリアフリー化をめざす「板橋区バリアフリー総合計画」を平成15年3月に策定しました。総合計画には、先行的にバリアフリー化を図る「バリアフリー促進地区」を位置づけており、赤塚地域における一地区として、板橋区の鉄道・バス交通の結節点であり、また、駅を中心とした多くの商業施設（商店街）が集積する「成増駅・営団成増駅周辺地区」が選定されました。

成増駅・営団成増駅周辺地区においては、「まち歩き」や「まちのバリアフリー点検地図づくり」などの公募区民参加によるワークショップの開催や、板橋区バリアフリー推進協議会における検討を通じ、様々な区民の方からのバリアフリーに関わるご意見等をいただき、商店街や周辺の住宅地などにおける主な利用施設や利用経路のバリアフリー化に必要な整備や取り組みを示した、「成増駅・営団成増駅周辺地区バリアフリー促進地区整備構想」をとりまとめました。

今後は、本構想で示された施策内容をもとに、区民・各事業者・行政が高い志をもち、互いに連携・協働しながら、地区のバリアフリー化にかかる各整備計画の作成や事業実施にかかる取り組みを進めていきます。



1 地区のバリアフリーに係る現況と課題

- ・当地区においては、バリアフリー点検マップづくり等の体験調査を実施しました。障害者や高齢者、子育て層の視点から、地域で取り組むべき内容や整備にかかる課題等、地区のバリアフリーにかかる多くの課題が明らかになりました。

～コラム～
体験調査
実施の様子



健常者も車椅子を体験したまち歩き点検ワークショップの様子



整備構想案の実施のために必要な取り組み等を意見交換

- ・当地区は、東武東上線と川越街道（営団地下鉄有楽町線）を境とした、以下に示す3つの地区に分けられます。

- 1) 成増駅北口地区
→駅前再開発地区と後背地（傾斜地）の小学校を核とした住宅地
- 2) 成増駅南口・商店街地区
→東武東上線成増駅と営団成増駅の2駅を結ぶ移動経路上に、店舗が集積する地区
- 3) 成増小学校周辺地区
→小学校を核とした住宅地（バス通りを含む主要生活道路）

・これらの3つの地区の特性を踏まえ、駅及び駅前再開発地区、道路（国道・商店街・主要生活道路）、建築物（店舗・住宅）等について、次のような主な整備・取り組み課題があげられました。

■ 主な整備・取り組み課題

【 旅客施設及び周辺 】	整備・取り組み課題等
1-1 成増駅と周辺再開発地区 （駅前ロータリー含む） 1-2 営団成増駅と周辺 （駅前ロータリー含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前ロータリー（バス乗降部）の段差解消 ・ 地区外利用者・障害者が利用できる付属施設の改善（券売機や電話ボックス） ・ 再開発ビル出入口部・オープンスペースの駐輪解消（エレベータ前等）
【 道路 】	整備・取り組み課題等
2-1 国道（川越街道）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要交差点（国道・バス通り）における歩道滞留部の傾斜の解消（歩道の改修時に伴う整備等） ・ 主要経路上のサイン・案内情報等の充実 ・ 点字ブロック等の改善（再点検）
2-2 北口バス通り（主要生活道路1） 2-3 成増が丘小学校周辺の道路（主要生活道路2） 2-4 南口バス通り（主要生活道路3） 2-5 成増小学校周辺の道路（主要生活道路4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道内の有効幅員の確保 ・ ガードパイプ等の設置による歩車分離 ・ 小中学校等の施設出入口の改善 ・ 小・中学校周辺の歩道空間の確保 ・ 点字ブロック等の改善（再点検）
【 建築物・その他の施設 】	整備・取り組み課題等
3-1 店舗（商店街）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道店舗の出入口の段差・急勾配の解消 ・ 既存駐輪スペースの有効利用等による歩道内駐輪の抑止 ・ 商店街利用者へのサービスの充実 ・ 商店街の活性化（魅力化） ・ 民間公開空地（歩道状空地）出入口部の段差解消
3-2 駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間駐車場出入口表示の改善による歩道部の安全確保
3-3 住宅（民間共同住宅等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間公開空地（歩道状空地）出入口部の段差解消 ・ 道路（公道）との一体的整備（開発指導） ・ 公益施設（駐輪場・ゴミ置き場等）の敷地内処理
3-4 成増公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口部流れ出し等の段差解消
3-5 成増教育会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口部の段差・急勾配の解消 ・ トイレ等のバリアフリー化
3-6 成増ヶ丘小学校及び赤塚第二中学校 3-7 成増小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口部の段差・急勾配の解消 ・ 通用口等の幅員確保 ・ 外周道路部のセットバック等による歩行者空間の確保

2 整備の基本方針

○ターミナル拠点としての駅前を中心に広がる商店街や学校を核とした住宅市街地からなる成増駅・営団成増駅周辺バリアフリー促進地区においては、3つの地区の現状と課題を踏まえ、次の基本方針に沿って、地域の取り組みと連動した各施設の整備を進め、地区外の利用者と共存できるバリアフリーのまちづくりを進めていきます。

1) バリアフリー化にかかる取り組みの推進と地元組織の連携

・各施設の利用者や鉄道及びバス事業者、地元町会、商店会、学校関係者等が連携を図り、まちのバリアフリー化にかかる各活動の取り組みや整備・開発にかかる計画づくりを進めていきます。

2) 魅力ある商店街づくりと連動したバリアフリー化の推進

・商店街においては、高齢者や障害者、子育て層が利用しやすい店舗づくりや関連施設の整備、情報案内及び各サービスの充実等、様々な利用者を想定した魅力ある商店街づくりをめざし、各店舗及び各商店街全体の活性化と連動したバリアフリー化への取り組みを推進していきます。

3) 学校を核とした住宅地の歩行者空間のバリアフリー化の促進

・安全で安心して歩ける歩行者空間づくりを目指し、学校等の公共施設や共同住宅等の民間宅地周辺道路において、歩道のバリアフリー化を進め、災害時等の一時避難場所への利用経路の整備も推進していきます。

4) 駅（駅前）及び道路におけるバリアフリー化の推進

・駅（駅前）及び駅周辺道路における整備後の利用状況の課題や改善点等を踏まえ、バリアフリー化に向けた改修及び整備に係る計画づくりを進めていきます。

・また、二駅間の移動経路となる商店街のバリアフリー化や自転車利用にかかる受け皿の確保、利便性を踏まえたシステム・ルール化等、心と社会のバリアフリー化も併せて取り組みます。

3 整備構想案

(1) 道路の整備・改善と取り組み

① 国道（川越街道）

○駅出口（地下鉄営団有楽町線）周辺においては、主に交差点部（駅前通り）における歩道の平坦化の整備（段差や勾配の解消）の検討を進めていきます。

○新たに設置された地下鉄エレベーター出入口への誘導案内の整備については、視覚障害者（点字ブロック）以外にも、車椅子利用者等への案内表示の整備を進めるとともに、他の利便施設の情報案内との一体的整備について検討を進めていきます。

○長期的な課題となる歩道の改修整備にあたっては、歩行者空間の有効幅員の確保等、沿道緑化や沿道建物の建替えに併せた整備を検討します。



新たに整備された川越街道沿いのエレベーター出入口



消えかけた歩行者・自転車分離標示の改善（国道）

② 区画道路（区道・その他の道路）

○商店街等、車・自転車・歩行者の通行が混在する道路においては、高齢者や障害者等の誘導設備の充実を図ります。

○小学校周辺の区画道路のセットバック等により、歩道の有効幅員を確保する等の検討を進めていきます。

○住宅地内の区画道路（バス通り）においては、歩車分離のためのガードパイプの設置等を進めていきます。また、新たな歩道状空地の整備にあたっては、歩道（公道）と壁面後退部（民地）との段差解消やボラード（※車止め）設置による一体的整備を誘導していきます。



般出入車・自転車・歩行者の通行が混在する商店街



段差を解消し、一体的に整備することで、さらに利用しやすくなる歩道状空地



段差を解消しボラード（車止め）を設置した歩道整備例

（２）公共交通施設の整備・改善と取り組み

①東武東上線・成増駅及び駅前ロータリー

○車椅子利用者が利用しやすい券売機の設置や駅前バスロータリーにおける情報案内表示、車椅子対応の電話ボックスの設置等、駅及び周辺関連施設の整備を進めていきます。

○駅前再開発地区（北口）ロータリー周辺においては、公開空地部への駐輪対策として、撤去等の取り組みを継続的に行うとともに、地区外からの駅及びバスターミナル利用者への啓発活動も進めていきます。

○長期的な課題として、南口駅前ロータリー及び周辺街区の歩道空間を中心とした一体的改修整備等、面的整備にかかる方針等の検討を進めていきます。



車椅子利用にも使いやすい券売機等の設備の改善



撤去活動等の取り組みを地域で続けている駅周辺の放置自転車の現状

②営団地下鉄有楽町線・営団成増駅

○短期的取り組みとして、周辺の主な利用施設から新設されたエレベーター出入口までの誘導案内標示の整備を検討していきます。

○長期的取り組みとして、国道の改修整備に併せた出入口の段差解消等の検討を行っていきます。

(3) 公園・公共施設の整備・改善と取り組み

①公園（成増公園等）

○公園の利用に係る点検活動や、改修及び維持管理に係る計画づくりを近隣住民と共同し進めていきます。

○公園出入口、マンホール周辺部における土の流れ出しによる段差・溝等の発生を防ぐため、維持管理体制の充実や改修等による整備を進めるとともに、車椅子対応のトイレ等、公園内の各設備の整備も進めていきます。

○バス通り沿いのオープンスペースを活用したバス停留所の整備等により、限られた歩道空間の安全確保を進めていきます。



公園出の点検活動の様子
(点検ワークショップより)



滞留空間の確保が必要な児童
公園前のバス停

②その他の施設等（教育会館・小学校・駐輪場等）

○出入口の段差・急勾配の解消を図るとともに、施設内のバリアフリー化の推進や、建物全体の改修計画の検討においては、住民や利用者等との意見交換等をもとに、整備計画を作成していきます。

○小学校における日常時の空き教室利用や災害時の一時避難所として利用できるための出入口の段差解消及び幅員の確保等の整備の検討を進めていきます。

○その他、短期的取り組みとして、駅前駐輪場や駐車場等の既存施設の利用促進を図るとともに、長期的な整備課題として、面的整備に伴った駐輪場の確保を検討していきます。



急勾配・段差がある出入口部
(教育会館)



車椅子利用者が通行できる幅員
確保が必要な通用口（小学校）

(4) 民間建築物の整備・改善と取り組み

①店舗<商店街>

○既存の「貸しトイレ」サービス等、「バリアフリーの商店街」として商店街の付加価値を高めるとともに、外部空間の改修時には専門家等の協力を得て、サイン・広告等も含めた統一的な計画づくりを行う等、商店街の活性化に係る取り組みを進めていきます。

○来客者の受け皿となる共用駐輪場の整備や既存駐輪場の利用促進（レイアウトの再検討等）、空き店舗の活用の検討、地区外からの駐輪・駐車場利用も利用できる地域通貨及び集荷システム等によるサービスの充実等、集客力のアップにつながる取り組みを商店街全体で進めていきます。



スロープ付き出入口と自動ドアの連続した整備が求められる店舗

○店舗出入口（公開空地部への出入口含む）の段差解消や自動ドアの設置、看板や陳列物のあふれ出しのコントロール等により誰でも利用できる店舗づくりを図ります。

②住宅等

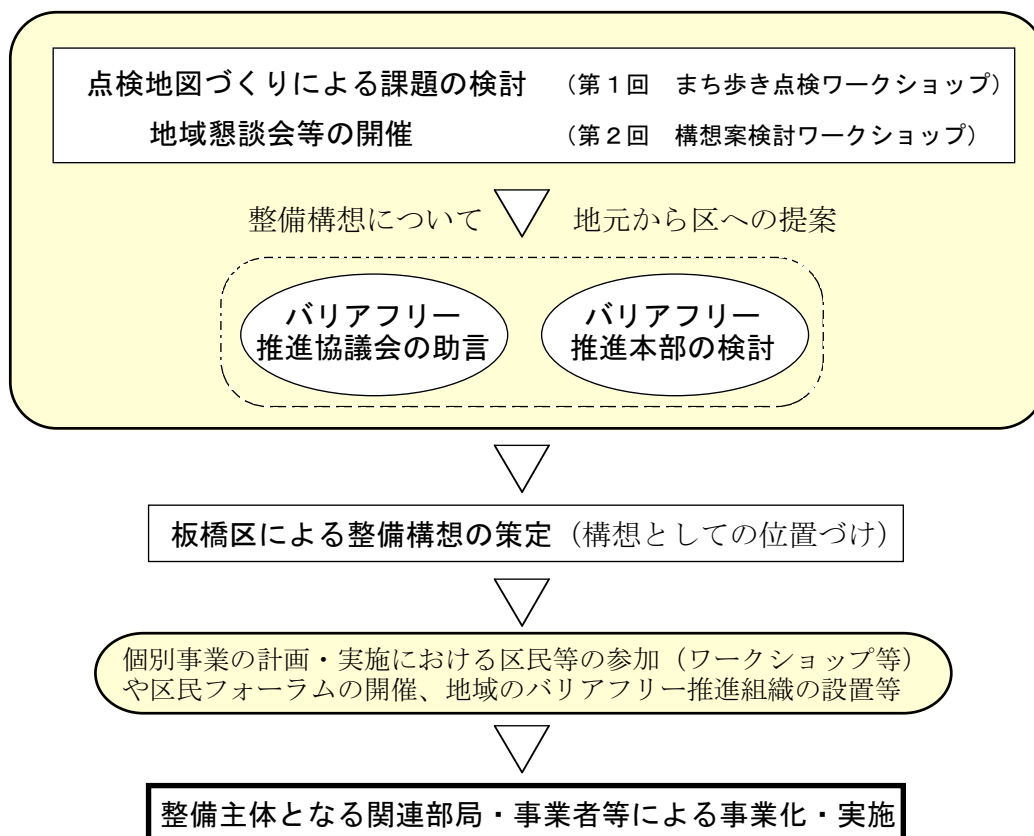
○既存共同住宅の外構改修時における歩道状空地の維持管理を進め、車椅子利用者等の歩行空間における有効幅員を確保していきます。

○新設共同住宅の計画時においては、歩道状空地（民地）と道路（公道）の一体的整備を誘導し、特に大規模な計画にあたっては、屋外空間のバリアフリー化を進めていきます。

4 整備構想の実現に向けて

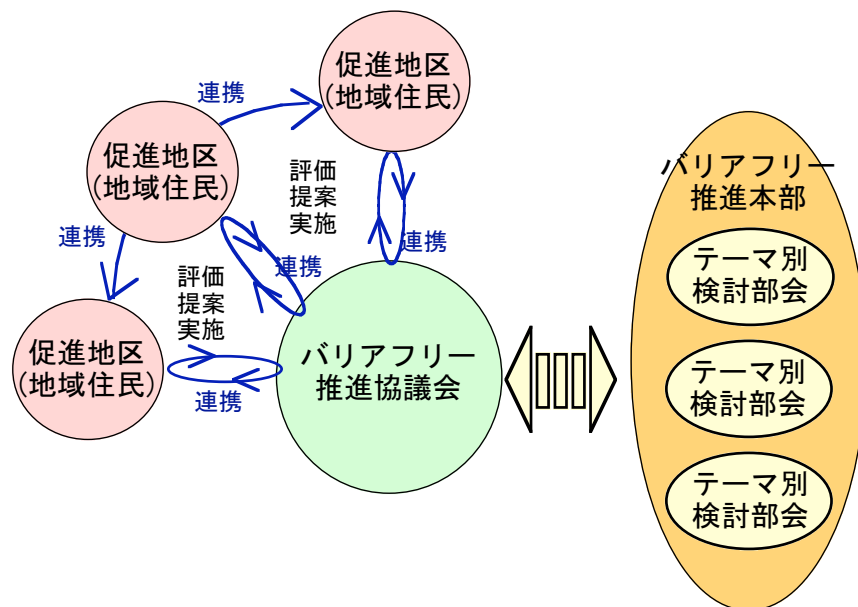
- 整備構想をもとに、バリアフリー推進協議会や市内のバリアフリー推進本部との連携により、各行政担当部署の協力を得ながら、事業の実施や実現に向けた取り組みを進めていきます。
- 具体的に実施される事業や各取り組み等については、地域における検討を踏まえ、随時、各取り組み主体との連携を図りながら整備計画等の作成を進めていきます。

■成増駅・営団成増駅周辺バリアフリー促進地区整備構想の策定と実施の流れ



○また、地域住民とバリアフリー推進協議会及びバリアフリー推進本部との連携により、施設整備後や各取り組み後の評価、その他、ノウハウやアイデアの蓄積や情報交換を図ります。

○放置自転車対策の検討等、他のバリアフリー促進地区と共通する課題にあたっては、必要に応じて、推進本部の下部組織としての検討部会を設置する等、より効果的な対応策の検討を進めていきます。



**成増駅・営団成増駅周辺
バリアフリー促進地区整備構想
平成16年度～平成25年度**

発行：板橋区福祉部障害者福祉課

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1

電話 03-3579-2365 / FAX 03-3579-2364

刊行物番号

15-172
